



【評価の基準】 施策・事業の実施状況や目標項目の達成値等を踏まえながら、次のA～Dで評価しています。  
 A: 地方創生に非常に効果的であった B: 地方創生に効果があった C: 地方創生の効果が低かった D: 地方創生の効果がなかった(事業未実施を含む)

重点戦略1	対馬ならではの雇用・なりわいを創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	策定時の数値	平成31年度末
			新規企業誘致数	0社(H26)	4社
			新規創業件数	3件(H26)【累計19件】	年間7件【5ヶ年の累計:35件】
			上記による新規雇用者数	—	100名
			宿泊施設収容人員	2,611人(H26.3)	3,000人

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証	
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	評価	意見
創業等支援事業	市内における新規創業や新分野への取組に対する支援及び各種セミナー及びハンズオン支援の実施など、域内の新たな創業を後押しする。	地域資源活用創業セミナー	未来創生課	創業や新商品の開発に興味がある方等を対象に、地域資源を活用した創業や商品開発のきっかけとするセミナーを開催する。	地域資源活用創業セミナー開催:1回(4時間) 地域資源活用創業セミナー開催:1回(2月11日、13名参加)	創業者数	9件	3件	B	B	なし	なし	
		創業準備セミナー		創業や新商品の開発、経営の改革等を考えている方を対象に、起業や経営に関する専門的な知識を取得するためのセミナーを開催する。	創業準備セミナー開催:1日(7時間)×3回開催 創業準備セミナー開催:3回開催(9月10日・10月22日・11月12日、延参加者数17名)								
		創業支援アドバイザー派遣		新商品の開発や新分野への挑戦、販路開拓等を考えている方に、専門家を派遣し支援や助言を行う。	アドバイザー派遣:延12回(各3時間) アドバイザー派遣:4事業所、延派遣回数6回	上記による新規雇用者数	12人	12人					
		創業等支援事業補助金		創業や新商品の開発、販路拡大等に取り組まれる方に補助金を交付し支援する。	新規ビジネス応援、農商工連携支援、6次産業化支援、対馬どぶろく特区活用支援事業補助金 7,000千円 補助金交付:6件、6,287千円 事業効果:新規創業2件、新商品開発3品目、新規雇用6人								
企業誘致奨励事業	コールセンター、宿泊施設等、研究機関など、若い女性が働ける場、若い方が求める職種を基本とした企業誘致を強力に推進し、若者のニーズにあった雇用の機会を提供していく。	企業誘致事業	観光商工課	企業誘致条例の対象企業(製造業、情報処理サービス業、旅館等観光関連産業、ソフトウェア業)及び研究機関等へ積極的に対馬進出の利点をPRすることで、対馬への進出及び設備投資を促し、雇用の増大と産業の振興を図る。	企業訪問:東京3回 企業訪問:福岡1回(2社5事業所)、大阪1回(1社)、東京1回(2社:宿泊業、金融、情報サービス業)	新規企業誘致	1	2	A	A	なし	なし	
宿泊施設拡大支援事業	急増する韓国人観光客等において、日帰り客の減少を促すため、宿泊施設の拡充に対し、企業誘致、起業の両面で支援を実施することで雇用の創出及び地元消費額の増加を図る。	企業誘致事業	観光商工課	宿泊施設の対馬への出店及び市内宿泊施設事業者の設備投資を活発化させ、雇用の増大と産業の振興を図る。	企業訪問:東京3回 企業訪問:福岡1回(2社5事業所)、大阪1回(1社)、東京1回(2社:宿泊業、金融、情報サービス業)	宿泊可能者数	200	384	A	A	なし	なし	
対馬市中小企業事業継承支援事業	商工業者の後継者対策として、事業継承者が行なう魅力ある店舗への改装や設備投資に際し、一定の支援を行うことで市内中小企業の魅力を向上させる。	対馬市商工業活性化推進事業補助金	観光商工課	市内商工業者が事業承継を行い、承継者である若い世代が事業維持拡大や転換を図る設備投資に対して補助金を交付する。	事業承継推進事業 3件 事業承継推進事業 2件	事業承継者数	3	2	B	B	なし	なし	
韓国人観光客等をターゲットにした事業者支援	急増する韓国人観光客をターゲットとしたお土産品の開発や設備導入等の経費に対し、一定の支援を行うことで、域内消費の拡大を目指す。	対馬市商工業活性化推進事業補助金 対馬市農商工連携事業	観光商工課	市内商工業者が顧客満足度の向上に積極的に取り組み、設備投資を行う中小企業者に対し、補助金を交付する。 商工業者が、対馬産の農林水産物を活用し、農林漁業者と連携し行う事業について①新商品開発②販路拡大③施設整備に対して補助金を交付する。	顧客満足度向上設備導入事業 500千円×6件 補助金採択件数 12件 補助金額4,144千円、設備投資額16,701千円 創業等支援事業補助金(農商工連携) 2件 農商工連携事業 採択1件(1件は申請後辞退)	支援事業者数	8	13	A	A	なし	なし	
対馬民泊推進計画事業	民泊施設の拡充、重点地区の設定による、修学旅行誘致活動の実施等、対馬市グリーンブルーツーリズム協会が行なう取組みに対し、支援することで、農家、漁家の複合的な経営体制の構築を目指す。	レベルアップ研修 民泊普及事業(重点地区) 民泊ツアーの企画運営 事務局体制整備と人材育成	農林・しいたけ課	民泊会員を対象に、宿泊客に対するおもてなしや、体験の提供の際の安全管理について研修会を実施する。また、島外研修を実施する。 民泊軒数を増やしたい地区を重点地区とし、積極的に働きかけるとともに、民泊登録の申請書類作成補助を行う。 モデルコースを作成、販売する。また、特に特徴的なツアーに関しては対馬民泊のPRのために著名人を呼ぶなどして広報活動を行う。 事務局研修生の指導を行うとともに、産直プロジェクト、暮らし体験プロジェクト等の収入源を企画運営し、事務局の自立を目指す。	島外研修1回、講習会2回 島外研修:1回(12月) 講習会:3回(7月:29名、9月:27名、3月:21名) 重点地区での民泊説明会の実施 民泊説明会の実施:佐護地区、大浦地区 モデルコースの作成、PRの実施 ツシマヤマネコナイトツアー、郷土料理体験ツアー等10コースの企画実施。「BE-PAL」、「ぐらんざ」、「ファンファン福岡」等に記事掲載をPR活動を実施。 6月から研修生1名雇用。各種プロジェクト実施。 研修生1名雇用	民泊登録件数	10軒	4軒	B	B	なし	なし	
民泊施設収容者数	60人	24人											

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
対馬猪鹿活用促進事業	民間組織が行なう捕獲・被害対策の一元化、地域活動のサポート、加工品の施策・販売等事業に対し支援するとともに解体施設等、必要な基盤整備を行ない、食肉、加工品、皮革製品等、新たな産業化を図っていく。	被害対策促進事業	農林・しいたけ課(有害鳥獣対策室)	被害発生時に迅速に対応するとともに、市民に被害対策の正しい知識を伝えるため、地区学習会を開催し、地区捕獲隊の組織化を目指す。	臨時職員人件費:3名、現場確認用車両借上:2台、PC2台使用料等、被害対策事業等民間委託料 被害相談会開催29地区、被害箇所地図データの作成。地区捕獲隊の結成について地区講習会を行い、地区住民の方々と一緒に効果的な罠の設置を実施。	地区学習会の開催	10地区	29地区	A	B	なし	なし
		資源活用事業		被害対策の普及啓発を目的に、精肉、食肉加工品、皮革製品等の資源活用を通じて、被害対策に関わる市民を増やす。	対馬猪鹿活用促進事業に係る消耗品費等 解体頭数実績:イノシシ79頭/シカ30頭、市内すべての学校で給食の食材として使用。ジビエを活用したソーセージ教室の開催や学校給食での活用や学校での講演をとおして被害対策・ジビエ活用の重要性を周知した。また対馬市の被害対策についてCATVで広く周知を行った。	地区捕獲隊増加数	5地区	0地区				
対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人材』発掘事業	農林水産業の担い手発掘のため、福岡、長崎、東京等でのUターン者向け合同面談会を開催するとともに、一定期間、Uターン就業者の就業にかかる人件費等の助成を行なうことで、本市の主力産業のひとつである第1次産業の復活を目指す。	林業従事者人材育成事業委託料	農林・しいたけ課	合同企業面談会等を通じて、企業に新規正規採用された従業員の人件費・研修費等に係る経費の1/2(年間150万円上限に最長2年間)を委託する。	8社、15名新規正規雇用 8社、20名新規正規雇用	新規正規雇用者数	8人	29人(うち林業U・Iターン6名、水産業U・Iターン5名)	A	A	なし	なし
		合同企業就職説明会参加補助金		島外における対馬市主催の合同企業面談会等に参加する企業に対し、旅費の1/2を助成する。	合同企業面談会参加助成:長崎2回、福岡3回、東京2回 合同企業面談会参加助成:長崎1回、福岡4回、東京3回 移住相談会&企業面談会へ参加した企業に対し助成							
		対馬の水産業紹介映像制作事業		合同企業面談会及び新規参入者説明会開催時における対馬市内の水産業に係る取り組みをわかりやすく紹介する映像を制作する。対馬の水産業や水産業生産活動に関わる最新の情報を整理するとともに、現地を広く取材し、市民向けの情報提供ツールとして映像化する。	対馬の水産業や水産業生産活動に関わる最新の情報を整理するとともに、現地を広く取材し、市民向けの情報提供ツールとして映像化する。 映像は未製作で、新規漁業就業者を募集するチラシ及びポスターを制作し、広く情報発信した。また、企業面談会等における対馬の林業広くアピールするため、広報宣伝用タペストリーを制作した。							
		農林水産業合同企業面談会等開催及び移住相談会等参加事業		対馬市内及び対馬島外において、新規卒業者、3年以内既卒者やUターン希望者などの市内就職及び市内企業の人材確保促進のため、関係機関と連携し、農林水産業合同企業面談会等を開催し、県等が主催する移住相談会に参加する。	農林水産業合同企業就職説明会等開催に係る経費 8月13日に対馬市農林水産部主催で合同企業面談会等開催。長崎1回・福岡4回・東京3回移住相談会&企業面談会へ参加。年度末には市内で開催された任期付自衛官企業説明会に参加。							

重点戦略2	島の魅力を活かした交流・移住・定住を促す!	重要業績評価指標(KPI)	項目	策定時の数値	平成31年度末
			島外高校進学者数	77名(H27.3)	50名
			高校卒業生の地元就職者数	31名(H27.3)	50名
			移住者数	21名【平成7年以降の累計】	25組50名【年間5組10名】

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
域学連携地域づくり推進事業	インターン学生等の受入により、島おこし実践塾、子ども寺子屋等の事業を実施するとともに大学等の研究成果を市民に還元する。対馬ファンを増やすことで、その後の島おこし協働隊、外部集落支援員等への応募から起業、定住の流れをつくる。	域学連携地域づくり推進事業	市民協働・交通対策課	大学が身近に無い離島において、大学が身近に感じられるような環境を整え、都市部学生の若い力や教員の知識・ノウハウ等によって島づくりの後押しを行うとともに、島づくりを担う移住定住人材の誘引、対馬ファン・リピーターの確保を行うことで、対馬の新たな価値と産業を創造する。	「域学連携地域づくり実行委員会」開催、コーディネート支援業務委託、学生受入(島おこし実践塾・実習・学術研究)、学術研究奨励補助金、「対馬学」フォーラム開催	学生実習生数	40人	26人	A	A	なし	なし
				計画通り実行	対馬学フォーラム島外からの参加者数 参加者からの移住定住者	30人 50人 2人	21人 101人 1人					
域学連携活動・滞在拠点施設整備事業	求島する学生の活動や滞在の拠点となるコア施設及びサテライト施設を整備し、都市部大学生等が訪れやすい環境を整備する。なお、同拠点施設を利用した研究機関、専門機関の誘致も促進する。	域学連携活動・滞在拠点(佐護医師住宅)整備	市民協働・交通対策課	「域学連携」における学生等滞在活動及び大学・地域交流拠点化のため施設を改修する。	域学連携活動・滞在拠点(佐護医師住宅)整備 H29年度に佐護医師住宅を改修予定	コア施設整備	1箇所	未整備	C	C	なし	コア施設は、計画どおりに完成すること
		域学連携活動・滞在拠点施設整備実施計画づくり		九州大学法学部出水ゼミと連携し、域学連携活動・滞在拠点整備の実施計画づくりを行う。	学術研究等奨励補助 九州大学法学部出水ゼミに学術研究経費を補助。学生たちが拠点施設地域として想定している佐護・阿連の地域住民にヒアリングしたりアクションをかけながら、地域協働の基本計画づくりを目指したが、地域力の低下等により、具体的な絵や体制は描けなかった。	滞在施設整備	1施設	1施設				
対馬っ子育英制度事業	基金等の設置により、地元高校への進学者及び地元就職者、大学卒業後の地元就職者への奨励金等の支援を推進することで、域外流出人口の抑制とUターン者の拡大を目指す。	対馬市酒井豊育英資金貸付基金	教育委員会総務課	有為な人材の育成を図るため、経済的な理由により就学が困難な方を対象に奨学資金の貸付を行う。	対馬市に住所を有し、大学、専修学校に在学するものを対象に、月額5万円以内を貸付 【H29.3月末現在】貸付者なし・返還中3名(返還残高 2,880千円)・措置期間1名(H30年度から返還開始)	奨学金貸付	1人	0人	C	/	早期に事業を構築すること	なし

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証	
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見	
対馬3高校サポート事業	地元3高校に進学する学生に対し、経済・交通支援をはじめ、3高校独自の取組みへの支援、教育・人材等の支援を実施することで、中卒者の島外流出に歯止めをかける。	高校魅力化推進懇話会	総務課	3高校の魅力化に向け、取組むべき課題解決のための政策立案を行う。	高校魅力化推進懇話会:1回開催	魅力化構想策定	策定完了	未完了	D	D	なし	取組を強化すること	
		ワーキンググループ会議			1回開催(H28.6.30) 市長、3校長、教育長、対馬振興局長、地域づくり推進課長								ワーキンググループ会議:2回程度開催
		離島地区小規模校の魅力化事業			アンケート等により保護者ニーズを把握し、実効性のある支援策の調査研究を進める。								開催なし
移住者トータルサポートセンター設置事業	職業、住居、教育、インフラ等を総合的に一元管理情報発信するセンターの設立のため、専門員の配置等により、移住しやすい環境基盤を整備する。	移住相談会参加	市民協働・交通対策課	全国各地で開催される移住相談会をはじめ、各種イベント時にUターン希望者への情報提供を行う。	移住相談会等への参加:東京、福岡等年間3回	空き家バンク登録件数	10件	3件	C	D	なし	なし	
		空き家バンク関連事業			市内空き家所有者への登録推奨、長崎県公舎、市営教員住宅の空き家バンクへの登録を進める。また空き家改修に係る補助金制度を構築し空き家バンクの充実を図る。								改修補助金4件
		移住定住HP作成			職業、住居、暮らしの情報を掲載したホームページを作成する。								移住者向けホームページの立ち上げ 移住者向けのホームページを作成
		短期滞在型住宅整備			移住希望者等を対象に短期滞在型住宅としての移住お試し住宅を整備する。								短期滞在型住宅整備 未実施
離島留学実施事業	都市部の小中学生に対馬の風土、環境を活かした留学生を募集し小規模校への留学を進めることで域外からの移住を拡大する。	島っこ留学推進協議会	教育委員会総務課	体験留学プログラム内容等決定、留学生募集内容決定、留学生等審査決定、離島留学に興味のある親子を対象に島暮らし体験を開催する。	協議会3回、広報活動、体験留学、里親委託、長期休業帰省補助	体験留学参加世帯数	10世帯	5世帯	D	D	なし	取組を強化すること	
					4-5月体験留学プログラム作成、体験留学広報啓発活動(HP・SNS)及び受付等の事務(補助金関係含む)、7月29日-31日体験留学の実施、4-5月校区実行委員会立ち上げに向け、説明会・学校訪問。5-7月里親募集の周知、校区実行委員会、5月第1回推進協議会(体験留学実施に向けての決定。島おこし協働隊申請、補正予算要求等の報告)3月第2回推進協議会(H27年度課題の対応とH28年度課題、当初予算要求等の報告及び協議。)、島っこ留学制度周知の為のHP開設など。								次年度留学申込数

重点戦略3	安心して結婚・出産・子育てができる環境を創る!	重要業績評価指標(KPI)	項目	策定時の数値	平成31年度末
			出生者数	年間246名(H26)	年間300名
重点戦略4	高齢者が健康で生きがいのあが感じられる環境を創る!		子育て支援に対する市民満足度	28.3%(H27)	50%
			小学校区単位を基本とした小さな拠点形成地域	—	3地域

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証	
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見	
保育所及び幼稚園料金低廉化事業	子育て世帯の経済的負担軽減のため、料金の低廉化について、拡充検討を行なう。	保育所及び幼稚園料金低廉化事業	こども未来課	同一世帯で満18歳までの子どもが複数人同時に特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業を利用している場合、最年長の子どもから順に2人目は半額、3人目以降は無料とする。	通年(随時) 計画通り実施した。	出生数	250人	243人	B	A	なし	なし	
対馬3高校サポート事業(再掲)	市内3高校に進学する学生に対する経済・交通支援をはじめ、3高校独自の取組みへの支援、教育・人材等の支援を一体的に実施することで、中卒者の島外流出に歯止めをかける。	高校魅力化推進懇話会	総務課	3高校の魅力化に向け、取組むべき課題解決のための政策立案を行う。	高校魅力化推進懇話会:1回開催	魅力化構想策定	策定完了	未策定	D	D	なし	取組を強化すること	
		ワーキンググループ会議			1回開催(H28.6.30) 市長、3校長、教育長、対馬振興局長、地域づくり推進課長								ワーキンググループ会議:2回程度開催
		離島地区小規模校の魅力化事業			アンケート等により保護者ニーズを把握し、実効性のある支援策の調査研究を進める。								開催なし
				豊玉高校と上対馬高校の魅力化に向けた事業の推進計画を策定する。	各高校で会議を3回程度開催 上対馬高校3回開催:H28.5.13 H28.6.28 H28.11.2 豊玉高校3回開催:H28.6.28 H28.11.2 H29.2.1								

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		H28年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証			
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見			
対馬っ子育英制度事業 (再掲)	基金等の設置により、地元高校への進学者及び地元就職者、大学卒業後の地元就職者への奨励金等の支援を推進することで、域外流出人口の抑制を図る。	対馬市酒井豊育英資金貸付基金	教育委員会 総務課	有為な人材の育成を図るため、経済的な理由により就学が困難な方を対象に奨学金の貸付を行う。	対馬市に住所を有し、大学、専修学校に在学するものを対象に、月額5万円以内を貸付 【H29.3月末現在】貸付者なし・返還中3名(返還残高 2,880千円)・措置期間1名(H30年度から返済開始)	奨学金貸付	1	0	C	D	なし	なし			
出会いの場創出に係る縁結び支援事業	市主催事業開催のほか、市内各種団体が実施する事業への人的・経済的支援を実施し、マッチングの機会をより多く提供することで、その後の結婚へ繋げていく。	縁結びプロジェクト事業	市民協働・交通対策課	市当局を含む市内関係者による実行委員会を立ち上げ、現在婚活イベントを開催している団体間の連携を図り、出会いの場を増やし、より効果的なイベントを開催する。	年2回(島外女性、島内女性向各30名)実施 イベント開催:H28年12月(参加:男性14・女性13)、H29年2月(男性9・女性6)、カップル成立13組	カップル成立数	15組	13組	B	B	なし	参加者の増加策を検討すること			
子ども未来塾事業	地域人材とインターン生との連携による子ども寺子屋(小中学生)やふるさと学習・進学塾(高校生)等を拡充し、島内での学力向上の機会を設定することで島外高校への流出を抑制する。	子ども未来塾事業	市民協働・交通対策課	主に島外の学生の力を活用しながら、子どもたちの自主・自立の学習意欲と学力の向上を図り、本土との教育格差を是正するもの。また、学生との交流を通じ、対馬のすばらしさや未来を考える機会を与え、郷土愛を育む。	小中学生向けの塾(子ども寺子屋)を島内5ヶ所程度、高校生向けの塾(学び舎つしま)を島内3ヶ所程度開催 子ども寺子屋:5ヶ所(佐須奈・厳原・瀬・久和・内院) 学び舎つしま:3ヶ所(比田勝・仁位・佐賀)	子ども寺子屋参加者 学び舎つしま参加者 運営支援学生	160人 260人 10人	延553人 延1635人 16人	A	A	なし	子どもの遊び場としないようにすること			
地域包括ケアシステム推進事業 (小さな拠点形成も含まれる)	「対馬における地域包括ケアシステムのあり方について」の提言内容を基本に、「医療」、「介護」、「生活支援」、「予防」、「住まい」の5つの柱毎の施策を推進する。 【主な内容】 (医療)病院と診療所間で最新の診療情報を相互に閲覧できる環境整備や医療人材の確保等 (介護)デイサービス、ショートステイ整備の拡充及び人材確保等 (生活支援)見守り、買い物支援、交通支援、ボランティア人材の拡充等	コミュニティ導入支援事業	市民協働・交通対策課	コミュニティ交通導入に向けた技術的・事務的支援と実証運行の検証を実施する。	コミュニティ交通導入に向けた技術的・事務的支援と実証運行の検証 地域が主体となったコミュニティ交通の運行を行うため、関係する全地域の代表者が役員となるコミュニティバスの運行協議会を設立した。利用者へのアンケートを実施し、実証運行の検証を行った。	コミュニティバス利用者/日	2.5人	1.8人	B	なし		コミュニティバス利用者の増加のため、利用方法、運賃等の見直しを検討すること			
		コミュニティバス実証運行		コミュニティバスの実証運行に向けた準備と運行を実施する。 11月1日から実証運行として運行を開始した。	コミュニティバスの実証運行に向けた準備と運行										
		車両購入等		10人乗りの車両及び登録番号表示マグネット等を購入する。 10人乗りの車両を1台購入 10人乗りの車両を1台購入	利用者の満足度								70%以上	88.20%	
		先進地視察		運行協議会と先進地視察を実施する。 先進地を3ヶ所視察し、運行に向けた準備を行った。	運行協議会と先進地視察を実施										
		診療所開設	地域包括・医療対策課	在宅医療に推進するためにいづはら診療所を開設する。 平成28年6月6日いづはら診療所開設	いづはら診療所の開設 平成28年6月6日いづはら診療所開設	推進本部会議開催	3回 (部会4回)	1回 (部会4回)					6回	B	事業内容の拡充
		対馬市地域包括ケア推進本部会議		提言書を受け、庁内で検討するために推進本部会議を開催する。 平成28年7月20日第1回目の会議を開催。ワーキング部会を設置し、平成28年度中に4回の部会を開催。											
		地域包括ケアシステムに関するセミナー開催		地域包括ケアシステムの推進を図るために、市職員向けのセミナーや、市民向けのセミナーを開催する。 2月28日:地域包括ケアシステム研修会、2月25日:地域づくりフォーラム、12月1日:市民公開講演会、12月3日:認知症講演会、1月14日:地域在宅医療・介護連携研修会、3月18日:地域医療講演会	あじさいネット加入										
		病院間連携事業	病院と診療所が情報交換できるよう「あじさいネット」に加入する。 平成29年1月にあじさいネット加入。システム導入・調整を経て、本格運用は平成29年度上半期を予定。	あじさいネットへの加入											
		シルバー人材センターからの人材派遣	福祉課	働く意欲を持っている高齢者のために、その知識、経験、希望に沿った補助的、短期的な就業の機会を確保し、高齢者の生きがいとその能力を増進し、地域社会づくりに寄与することを目的に「対馬市シルバー人材センター」の運営を行う。 官公庁からの公園施設の管理・清掃及び官公庁の建物の清掃、民間委託の除草、清掃、軽微な大工作業等へ人材を派遣する。 対馬市:6施設、年間988回 教育委員会:3施設、年間264回 県・労働局・ハローワーク・その他:年間160回 民間委託:年間267件(除草作業他)	会員数	60人	52人	B					事業内容の拡充		